令和５年度　豊田市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和６年５月

豊田市（愛知県）

○計画期間：令和５年４月～令和１０年３月（５年０月）

Ⅰ．中心市街地全体に係る評価

１．令和５年度終了時点（令和６年３月 31 日時点）の中心市街地の概況

平成 20 年に策定した第１期中心市街地活性化基本計画（以下、計画という）では、計画推進中に発生したリーマンショックによる景気後退によって、大型店の売上や宿泊施設の利用者数が減少するなどの影響を受け、目標指標で掲げた歩行者通行量等は未達成となった。

それらを改善するべく平成 25 年に策定した第２期計画では、商業施設、高齢者福祉施設、住宅棟の３棟からなる「豊田市駅前通り北地区第一種市街地再開発事業」等を基幹事業に実施してきた。平成 29 年に再開発ビル「KiTARA」が完成し、昭和 60 年からの豊田市駅周辺の再開発構想も完成を迎えた。また、計画で掲げた目標指標は、先述の住宅棟の入居が始まったことにより、全て達成することができた。

平成 30 年度からの第３期計画では、第２期計画までの課題であった昼間のにぎわいづくりと、再開発により整備された都市機能を最大限に活かした「公民連携によるまちづくり」を目指して、官民合計 37 事業に取り組んだが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、目標に掲げたすべての指標は未達成となった。

それらの改善に向け、令和５年度からの第４期計画では、第３期計画までの課題であった居住、商業、エリアマネジメント、都市機能、産学官連携の分野の課題解決に向け、官民合計 32 事業に取り組んでいる。

計画１年目となる令和５年度は、令和８年の 2026 アジア競技大会を一つの目標に実施される都心環境計画に基づく都市施設整備が本格的に着工されたことで、公共的空間が減少し、利活用について課題が見えたが、目標指標は順調に推移した。

今後は、引き続きまちなかのにぎわいづくりに寄与する仕組みの検討を進めていくとともに、豊田市駅周辺の工事の状況や公共的空間の特性を考慮した環境整備、事業の実施などの取り組みが必要である。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（１）中心市街地の居住人口　（基準日：毎年度１月１日）

	令和４年度 (計画前年度)	令和５年度 (１年目)	令和６年度 (２年目)	令和７年度 (３年目)	令和８年度 (４年目)	令和９年度 (５年目)
人口	13,394 人	13,458 人				
人口増減数	106 人	64 人				
自然増減数	▲42 人	▲45 人				
社会増減数	120 人	71 人				
転入者数	1,011 人	995 人				

（２）中心市街地の地価　（単位：円/㎡）

	令和４年度 (計画前年度)	令和５年度 (１年目)	令和６年度 (２年目)	令和７年度 (３年目)	令和８年度 (４年目)	令和９年度 (５年目)
住宅地 (平均)	145,000	150,500				
商業地 (平均)	230,250	240,250				

２．令和５年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第４期計画の初年度としては目標指数として掲げている「居住人口」「歩行者通行量」「創業者数」すべての目標達成が見込まれている。

「居住人口」は平成 29 年の再開発「KiTARA」の完成、「歩行者通行量」「創業者数」は（一社）ＴＣＣＭが中心となり平成 30 年より推進してきたエリアマネジメントによる取り組みの効果が出始めてきたといえる。

また、中心市街地の地価も上昇傾向にあり一定の波及効果をもたらしている。

第 3 期計画中にはコロナ後を見据えた取り組みとして、公共空間での椅子、人工芝の敷設等の設え整備（社会実験）や、屋外空間を活用したマーケット開催等による日常的な来街促進、回遊性、及び屋外空間の滞在性向上を狙った事業を行ってきた。そして第 4 期計画の開始とともに新型コロナの感染症法上の位置づけが「5 類」に移行されたことにより、日常的事業を補完するような休日集客イベントによるにぎわいづくり事業が活発に開催され、第 3 期計画とのつながり、長年の積み重ねの効果を存分に発揮した取り組みになったことは評価できる。

一方で豊田市駅東口駅前広場整備事業、豊田市駅西ペデストリアンデッキ整備事業の本格的な大規模工事が開始され、豊田市駅ペデストリアンデッキの東西通路の分断によるまちなか回遊性、利便性の低下による経済的な活動減少、また、利用できる公共空間（広場）の一時的な減少による市民の活発な公共空間活用の意欲低下が懸念される。

第 4 期目という長きにわたる計画のなか、中心市街地活性化協議会として、過去の計画での成果を活用しつつ、また、4 月にオープンした豊田市博物館と豊田市美術館を合わせた文化ゾーンと中心市街地との連携を見据えた、第４期計画の事業推進に期待する。

Ⅱ．目標ごとのフォローアップ結果

１．目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値（R3）	目標値（R9）	最新値（R5）	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
まちなかの定住者を増やす	居住人口の社会増減数	▲49（人/年）	108（人/年）	71（人/年）	B	-	①
日常生活を支える商業の再生	歩行者通行量（休日）	16,186（人/日）	19,380（人/日）	22,626（人/日）	A	-	①
エリアマネジメントの推進							
プレイスメイキングの推進							
まちなかでの起業・創業の推進	創業者数	3（件/年）	12（件/年）	8（件/年）	B	-	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる　②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ１、２とする。

２．目標達成見通しの理由

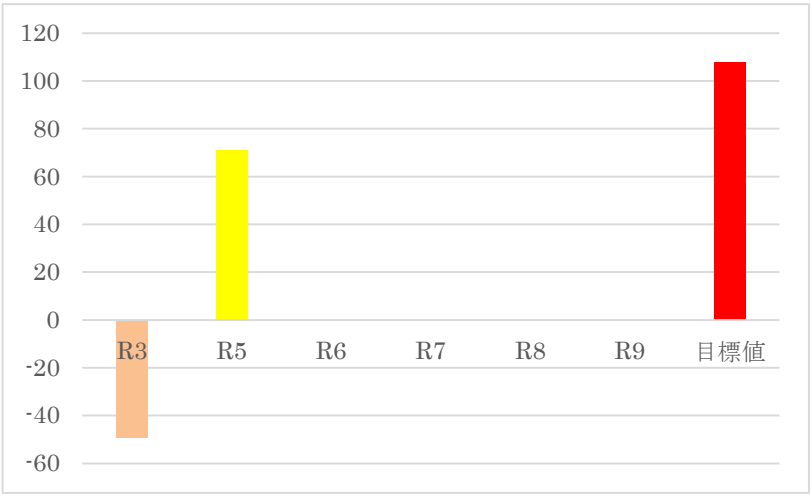
計画推進によってエリアの価値が向上したことにより、民間共同住宅の開発や世界ラリー選手権等大型集客イベントによる賑わい創出、創業希望者の増加に影響し、目標達成に向けて順調に推移したため。

３．前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

４．目標指標ごとのフォローアップ結果

（１）「居住人口の社会増減数」※目標設定の考え方：認定基本計画 P.58～P.59 参照

●調査結果と分析



年	（単位：人）
R3	▲49 （基準値）
R5	71
R6	
R7	
R8	
R9	
R9	108 （目標値）

※調査方法：豊田市住民基本台帳より中心市街地（16 町）の居住人口の社会増減数を確認
※調 査 月：1 年間を通じて
※調査主体：豊田市
※調査対象：中心市街地（16 町）の居住者

	令和４年度 （計画前年度）	令和５年度 （１年目）	令和６年度 （２年目）	令和７年度 （３年目）	令和８年度 （４年目）	令和９年度 （５年目）
転入	1,011 人	995 人				
転出	891 人	924 人				
増減	120 人	71 人				

〈分析内容〉

・転入は減少傾向、転出は増加傾向にあり増減値が前年度よりも減少している。
・基準年よりは回復傾向にあるが、計画前年度の値より悪化した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①．低未利用地を活用した共同住宅等の誘導事業
（実施主体：定住促進課、都市整備課、財産管理課）

事業実施期間	令和５年度～令和９年度
事業概要	駅前の共同住宅への住み替え需要を踏まえ、中心市街地の複合的な高度利用の整理と低未利用地等の敷地を確保し、共同住宅等を誘導
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	今後の計画的な利活用に向け、市が保有する低未利用地の情報収集を実施
事業の今後について	引き続き、関係課と連携しながら、低未利用地の利活用の可能性について検討予定

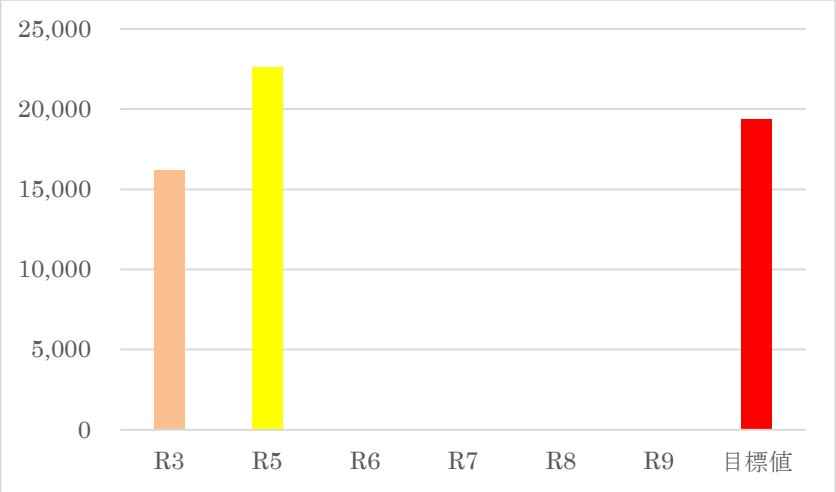
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

今後も、共同住宅等の誘導事業を推進するため、市が保有する低未利用地の情報収集を実施するほか、活用方法について検討していくことが必要である。

（２）「歩行者通行量（休日）」※目標設定の考え方：認定基本計画 P.59～P.63 参照

●調査結果と分析



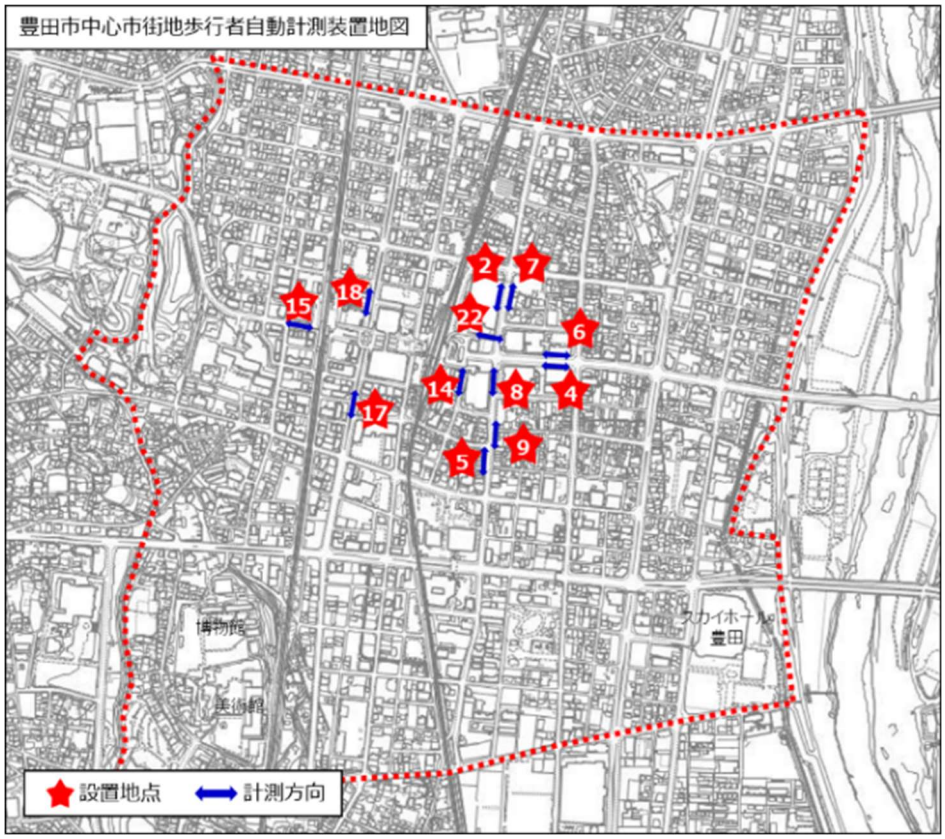
年	（単位：人/日）
R3	16,186 （基準値）
R5	22,626
R6	
R7	
R8	
R9	
R9	19,380 （目標値）

※調査方法：豊田市中心市街地歩行者自動計測装置による測定（12 地点）

※調 査 月：1 年を通して（休日 5 時から 24 時）

※調査主体：豊田市

※調査対象：歩行者



（単位：人/日）

	令和４年度 (計画前年度)	令和５年度 (１年目)	令和６年度 (２年目)	令和７年度 (３年目)	令和８年度 (４年目)	令和９年度 (５年目)
地点２	2,231	1,899				
地点４	2,475	2,451				
地点５	960	978				
地点６	2,030	2,395				
地点７	1,660	1,921				
地点８	1,134	1,009				
地点９	993	1,082				
地点 14	1,142	1,228				
地点 15	982	1,027				
地点 17	2,418	2,681				
地点 18	1,524	1,866				
地点 22	3,684	4,104				
合計	21,226	22,626				

※数値はすべて小数点以下切り上げのため合計と誤差あり

〈分析内容〉

・大型イベント等を契機に実施した取り組みにより豊田市駅西側の通行量が増加した。

・基準年より回復傾向にあり、目標値の達成に向けて順調に進捗している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①．豊田市駅東口駅前広場整備事業

（実施主体：都市整備課）

事業実施期間	平成 21 年度～令和 11 年度
事業概要	豊田市駅東口における駅前広場の整備 A＝7,400 ㎡
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）
事業目標値･最新値及び進捗状況	拠点施設の運営支援、東口駅前広場・東口デッキ等の詳細設計、用地取得及び物件移転補償を実施
事業の今後について	東口駅前ロータリー整備工事を実施予定

②．豊田市駅西口ペデストリアンデッキ整備事業

（実施主体：都市整備課）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 7 年度
事業概要	ユニバーサルデザインのデッキに向けた再整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）
事業目標値・最新値及び進捗状況	西口 D デッキ撤去工事及び西口デッキ等詳細設計を実施
事業の今後について	引き続きに西口デッキ整備工事を実施予定

③．都心地区新設サイン整備事業

（実施主体：都市整備課）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 11 年度
事業概要	施設への回遊性を促すサイン施設設備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省
事業目標値・最新値及び進捗状況	実績なし
事業の今後について	予定なし（次年度の事業実施に向けて検討）

④．市道西町若宮線歩車共存道路整備事業

（実施主体：都市整備課）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 7 年度
事業概要	歩行者が安全に通行できる歩道の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）
事業目標値・最新値及び進捗状況	用地取得、物件移転補償及び電線共同溝整備工事を実施（第 1 工区）
事業の今後について	電線共同溝整備工事（第 2 工区）及び歩車共存道路整備工事（第 1 工区）を実施予定

⑤．緑と花につつまれた都心創出事業

（実施主体：公園緑地つかう課）

事業実施期間	平成 30 年度～令和 7 年度
事業概要	緑の環境都市軸（スタジアムアベニュー）を中心とした、都心において緑化と花飾りを一体的に整備・管理
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値･最新値及び進捗状況	豊田市停車場線（豊田市駅から豊田スタジアム）沿いへの花飾り 7 と緑化施設の維持管理を実施
事業の今後について	継続して実施予定

⑥．博物館整備事業

（実施主体：博物館）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 6 年度
事業概要	歴史・文化財や関連する自然についての展示、学習支援・交流調査・研究、収集を推進する施設の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業）（国土交通省） 令和２年度～令和５年度
事業目標値･最新値及び進捗状況	博物館の建築工事（建築、電気、空調・管工事）、展示製作、外構工事（駐車場及び敷地内サインの整備、植栽工事等）、進入路等工事を実施・完了 博物館開館に向けた、ＳＮＳ等による情報発信の実施
事業の今後について	令和５年度で整備事業は完了 令和６年度博物館開館（４月２６日）

⑦．広場等屋外空間を活用した賑わい・滞在・快適性向上事業
（実施主体：一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度
事業概要	公共的空間活用の社会実験から本格実施につなげていくことを目指す
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	都市利便増進協定に基づき停車場線歩道を使用し Toyota Street Market を毎月定期開催（11 回／年） WRC 開催に伴い、停車場線を使って（ホコ天）まちなか賑わい創出イベントの開催（2 日間／11 月） 中心市街地都市公園を利用し STREET & PARK MARKET を毎月定期開催（12 回／年）
事業の今後について	都市利便増進協定に基づき停車場線歩道を使用し Toyota Street Market の毎月定期開催を予定（12 回／年） 停車場線を使って（ホコ天）まちなか賑わい創出イベントの開催を予定（2 回 マーケット&JAZZ／5 月、WRC／11 月） 中心市街地都市公園を利用し STREET & PARK MARKET を毎月定期開催予定（12 回／年）

⑧．西口ペデストリアンデッキ広場活用事業
（実施主体：商業観光課、一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度【済】
事業概要	豊田市の西口ペデストリアンデッキの耐震補強に合わせて、西口ペデストリアンデッキ広場の備え、活用等を検討
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	市の整備工事開始前に、将来の新広場、飲食施設の配置、設え、電源・給排水等環境面を豊田市と調整
事業の今後について	将来の新広場の設え・配置の検討及び運営・管理・活用方法の検討、飲食施設の機能、レイアウト及び事業者誘致・運営管理方法の検討を実施予定

⑨．まちなか案内機能整備事業

（実施主体：商業観光課、一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	平成 22 年度～令和 4 年度【済】
事業概要	来街者へのまちなか情報発信機能の整備・運営、豊田市駅東口駅前広場整備事業にあわせたまちなか案内機能の検討・整備
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	THE CONTAINER n6 再整備の考え方、民設民営の場合の事業計画案を検討（愛知工業大学研究室 6 回／年、中小機構アドバイザー3 回／年、ワークショップ形式での検討会の開催）
事業の今後について	THE CONTAINER n6 再整備、民設民営の場合の事業計画案の作成（中小機構支援制度を活用しワークショップ形式での検討会の開催）を実施予定

⑩．都心公共施設活性化事業

（実施主体：商業観光課）

事業実施期間	平成 22 年度～令和 9 年度
事業概要	県公共施設で実施するイベント等に訪れる利用者をまちへ回遊させる事業を展開し、中心市街地及び周辺の公共施設とまちの連携強化並びに回遊性向上事業の展開
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	各施設にて実施
事業の今後について	各施設にて実施予定

⑪．低炭素社会モデル地区整備事業

（実施主体：未来都推進課）

事業実施期間	平成 23 年度～令和 5 年度【済】
事業概要	パビリオン、スマートハウス、緑化・特殊舗装施設、地産地消ハウス、水素ステーション、マルチ・モービルステーション等の整備・運営
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	SDGs 情報の発信拠点として「サスティナブルマルシェ」、「耕 Life SDGs マルシェ」、「サンクスフェスタ」など市民向けイベントを 15 回開催 とよた SDGs パートナーをはじめとする事業者と共働し、オンラインセミナー等の事業を 6 回開催（令和 5 年度来場者数：23,124 人）
事業の今後について	事業の終了に伴いモデル地区の解体工事を実施

⑫．参合館長寿命化改修

（実施主体：文化振興課、商業観光課、豊田市駅前開発（株））

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度
事業概要	施設の老朽化対策と施策・社会ニーズへの対応を一体的に進め、施設利用環境の整備による施設の長寿命化を図る
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	実施設計
事業の今後について	工事予定

⑬．まちなかインフォメーション事業

（実施主体：一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 9 年度
事業概要	来街者に対してまちなかの情報発信を実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地商業活性化診断・サポート事業 令和 5 年度～令和 9 年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	まちなかインフォメーション、まちなか宣伝会議事業の情報発信、事業受付等を実施 行政サービス（おいでんバス高齢者定期販売、マンホールカード配布、サイネージによる観光情報提供）を実施 コーヒー、スイーツ＆アルコール飲料販売を実施
事業の今後について	まちなかインフォメーション、まちなか宣伝会議事業の情報発信、事業受付等を実施予定 行政サービス（おいでんバス高齢者定期販売、マンホールカード配布）を実施予定 コーヒー、スイーツ＆アルコール飲料販売を実施予定

⑭．豊田市駅周辺地区のエリアマネジメント推進事業

（実施主体：一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 9 年度
事業概要	県豊田市駅周辺地区のステークホルダー等が連携してエリアの魅力化、安全安心なまちづくり、快適性の向上等をめざし、屋外空間等を活用する事業の検討・実施
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	エリアマネジメント研究会の開催（8 回／年） 東京都市大学とエリアマネジメント活動の評価調査、調査ツール「AHP」の開発とワークショップの開催（検討会 3 回、ワークショップ 3 回） 都心環境計画整備事業の情報共有、都市再生推進法人の役割等を検討する官民意見交換会の実施（7 回／年） 豊田市駅東西の一斉清掃活動（12 回／年）
事業の今後について	エリアの情報共有、課題等の対応を検討予定 「（仮）豊田市エリアマネジメント協議会」の設立（7 月予定） 協議会内にエリアの課題等の対応を検討するグループを設置予定 都心環境計画整備事業の情報共有、都市再生推進法人の役割等を検討する官民意見交換会の実施予定（5 回／年） 豊田市駅東西の一斉清掃活動を予定（12 回／年）

⑮．都市再生推進法人（一社）TCCM）によるまちづくり及びプロモーション事業
（実施主体：一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 9 年度
事業概要	県法人格を持ったまちづくり組織が事業収益を得て、新たなまちづくり事業に還元する
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	エリアマネジメントに関する取り組みや研究会の運営、都市再生推進法人としての事業推進（まちづくり事業） まちなか宣伝会議、映画を活かしたまちづくり実行委員会による事業を実施（プロモーション事業）
事業の今後について	エリアマネジメントに関する取り組みや研究会の運営、都市再生推進法人としての事業推進を予定（まちづくり事業） まちなか宣伝会議、映画を活かしたまちづくり実行委員会による事業を実施予定（プロモーション事業）

⑯．中心市街地テナントミックス推進事業
（実施主体：豊田まちづくり（株）ほか民間事業者）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度
事業概要	豊田市中心市街地テナントミックスビジョンに基づき、中心市街地大型商業施設が一体となってひとつの商業モールとして機能するよう、テナントリーシングや施設整備、テナントミックス推進における課題を共有
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	6 施設新規出店数 7 店舗増加 歩行者通行量増加（愛知環状鉄道、豊田参合館、KiTARA 付近）
事業の今後について	商業施設の役割・まちと施設のつながりを意識し、SC 協会セミナーへの参加や情報源拡大を目指し、同協会への勧誘を実施予定 各施設の課題や問題を含めたリーシング情報の共有とフィードバックを実施予定

⑰．商業・サービス機能誘致奨励事業

（実施主体：商業観光課）

事業実施期間	平成 17 年度～令和 9 年度
事業概要	中心市街地に商業サービス機能の拠点となる大型施設（1,000 ㎡以上）が新規に進出した場合等に、固定資産税・都市計画税・事業所税相当分を補助
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値･最新値及び進捗状況	交付件数：１件 交付先：豊田まちづくり（株）
事業の今後について	1 件交付予定 集客力のある大型商業施設等の誘致を推進し、中心市街地の商業・サービス機能を充実、強化するため実施予定

⑱．公共空間等整備事業

（実施主体：商業観光課）

事業実施期間	平成 27 年度～令和 9 年度
事業概要	大型商業施設における広場、トイレ、休憩スペース等の公共的空間や施設の整備等に要する経費に対する補助
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値･最新値及び進捗状況	交付件数：１件 交付先：豊田市駅東開発株式会社（ギャザビル 2 階及び 3 階レストスペース）
事業の今後について	必要に応じて、来訪者にとって快適な空間に向けた整備を実施し、また訪れたくなるまちとなるよう、おもてなし環境の向上を目指していく。

⑲．空き店舗等活用事業

（実施主体：商業観光課、商業・サービス事業者）

事業実施期間	昭和 53 年度～令和 9 年度
事業概要	空き店舗等の遊休資産活用や民間投資を先導する不足業種等の誘致のためのチャレンジショップ・コミュニティ施設等の整備に対し、店舗等の改装費や工事期間内の家賃を補助
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値･最新値及び進捗状況	交付件数：１件 交付先：一般社団法人 TCCM（豊田参合館 1 階交流滞在スペース） 空き店舗（退店予定含む）に対する支援策の検討
事業の今後について	空き店舗（退店予定含む）に対する支援策の検討

⑳．まちなか賑わい・回遊性向上事業

（実施主体：一般社団法人 TCCM）

事業実施期間	平成 15 年度～令和 9 年度
事業概要	地域商業者、公共施設、メディア関係者等で構成する「中心市街地まちなか宣伝会議」が情報発信、集客イベント等を合同で実施
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	まちなか宣伝会議の開催（月次定例 12 回）及び関連事業の実施 まちパワーSPRING 3 月 サポーター店（グランパス、ヴェルブリッツ、美術館、映画、マラソン） WRC 関連プレミアム商品券 26,000 千円 11 月～2 月
事業の今後について	まちなか宣伝会議の開催（月次定例 12 回）及び関連事業の実施を予定 まちパワーSPRING 3 月予定 サポーター店（グランパス、ヴェルブリッツ、美術館、映画、マラソン）実施予定 WRC 関連プレミアム商品券実施予定

㉑．豊田おいでんまつり事業

（実施主体：豊田おいでんまつり実行委員会）

事業実施期間	昭和 43 年度～令和 9 年度
事業概要	本市最大のまつり行事を中心市街地において開催
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 5 年 7 月 29 日（土）おいでん総踊り 参加者数：45 連 1,214 人、リトル：11 連 349 人 令和 5 年 7 月 30 日（日）花火大会 観客数：12,810 人（協賛席入場者数） 達成度：本市最大のまつり行事を中心市街地において開催する事業であり、中心市街地への来街促進、にぎわいの創出及び間接的な歩行者通行量の増加に寄与した。
事業の今後について	おいでん総踊り：令和 6 年 7 月 27 日（土）実施予定 花火大会：令和 6 年 7 月 28 日（日）実施予定

㉒．中心市街地イルミネーション事業

（実施主体：イルミネーションストーリー実行委員会）

事業実施期間	平成 12 年度～令和 9 年度
事業概要	豊田市駅周辺で行うイルミネーション装飾及びサブイベントの実施
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	実施期間：令和 5 年 11 月 16 日（木）～令和 6 年 1 月 14 日（日） 達成度：世界ラリー選手権の開幕に合わせ、点灯式や装飾を実施することでラリーイベントとの一体感や盛り上がりを創出すると同時に歩行者通行量の増加に寄与した。
事業の今後について	実施予定

㉓．商店街にぎわい創出支援事業

（実施主体：商業観光課）

事業実施期間	昭和 53 年度～令和 9 年度
事業概要	商店街が実施する顧客の獲得、販売促進等の事業機会の拡大を目的として実施する事業及び防犯設備や街路灯の整備に対する補助
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	各商店街の活性化計画に基づく事業実施に対する支援の実施
事業の今後について	各商店街の活性化計画に基づく事業実施に対する支援を実施予定

㉔．まちなかコミュニティ施設連携事業
（実施主体：豊田まちづくり（株））

事業実施期間	平成 27 年度～令和 9 年度
事業概要	コミュニティ機能を併設した施設の活用を実施
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	MAMATOCO 活性化で地域の魅力化、回遊性向上 ①豊田こまちリンパケア 前年比 85% ②空飛ぶ羊 前年比 80% ③レンタルスペース 40% コロナ等の影響で離れた客を取り戻しつつある
事業の今後について	MAMATOCO のコミュニティ機能を向上させ地域の魅力・回遊性向上を図る。 ①2 テナントの運営サポート ②ママと子関連活動の場としての活用促進 ③レンタルスペース販促強化

㉕．豊田市駅バス停留所施設整備事業
（実施主体：都市整備課、交通政策課）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 7 年度
事業概要	豊田市駅バス停留所待機施設（公共交通情報提供、待合所等）の整備
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（豊田都心地区））（国土交通省）
事業目標値・最新値及び進捗状況	設置に向けた協議調整及びバス停留所詳細設計
事業の今後について	バス停留所整備工事

㉖．基幹バス路線運行事業
（実施主体：交通政策課）

事業実施期間	平成 19 年度～令和 9 年度
事業概要	都心と各地域核を結ぶ基幹バスの運行
国の支援措置名及び支援期間	地域公共交通確保維持改善事業 令和 5 年度～令和 9 年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	都心と各地域核を結ぶ運行を適切に実施
事業の今後について	都心と各地域核を結ぶ運行を継続実施

㉗．先進移動技術等実証事業

（実施主体：未来都市推進課）

事業実施期間	平成 25 年度～
事業概要	環境負荷の小さい次世代自動車（パーソナルモビリティ・電気自動車）のシェアリングシステムの活用実証
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	歩行者領域 BEV「C+walk」のシェアリングサービス「まち+モビ」を中心市街地で実施。計 5 拠点で約 500 人が利用 「まち+モビ」普及啓発のための試乗体験会をグランパスやラリーのイベントと合わせて 5 回実施し、約 500 人が体験 サービスの有料化を実施
事業の今後について	「まち+モビ」の継続 「まち＋モビ」認知度向上のための体験会等イベントを実施

㉘．豊田市駅駅舎改修事業

（実施主体：名古屋鉄道（株）、都市整備課）

事業実施期間	平成 21 年度～令和 8 年度
事業概要	名鉄豊田市駅の耐震化、北改札の設置、景観整備（全体）
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	駅舎改修に向けた協議調整
事業の今後について	駅舎耐震補強工事及び駅舎改修工事の実施

㉙．駐車場利便性向上事業

（実施主体：豊田まちづくり（株）、商業観光課）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 9 年度
事業概要	駐車場再整備、フリーパーキング駐車場の誘導方法及びシステムの見直し
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	各駐車場精算機をインボイス及び新貨幣・新紙幣対応とし利便性が向上した。
事業の今後について	フリーパーキング利用状況から駐車場への誘導方法及びシステムの見直しを検討し、駐車場利便性向上を図る。

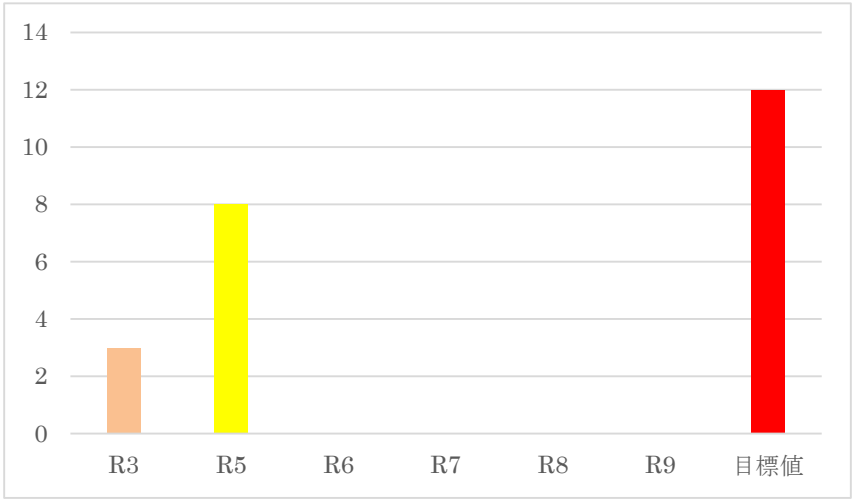
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗している。

今後は豊田市駅周辺を中心とした工事の影響で歩行者の利便性低下が懸念されるが、各種イベント及び事業による公共的空間の活用により、目標達成に向けて回遊性向上を目指す。

（３）「創業者数」※目標設定の考え方：認定基本計画 P.64～P.65 参照

●調査結果と分析



年	（単位：件/年）
R3	3 （基準値）
R5	8
R6	
R7	
R8	
R9	
R9	12 （目標値）

※調査方法：特定創業支援事業証明書を交付した創業希望者の数を確認
※調 査 月：1 年を通じて
※調査主体：豊田市
※調査対象：証明書を交付した創業希望者のうち中心市街地で創業を希望する者

〈分析内容〉

・中小企業を中心とした支援等により昨年度より大幅に回復した。
・例年より増加しており、目標値の達成に向けて順調に進捗している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①．ものづくり創造拠点運営事業
（実施主体：次世代産業課）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 9 年度
事業概要	ものづくりに関する機能を集約した中小企業の新たな事業展開などを支援する拠点の運営
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	スタートアップによる新産業創出支援、中小企業のデジタル化の促進、ものづくり人材の育成支援、中小企業の新たな事業展開支援を実施
事業の今後について	スタートアップによる新産業創出支援、中小企業のデジタル化・カーボンニュートラルの促進、ものづくり人材の育成支援、中小企業の新たな事業展開支援を実施予定

②．まちなかエリア新規創業相談・支援事業

（実施主体：豊田商工会議所）

事業実施期間	平成 28 年度～令和 9 年度
事業概要	創業相談・支援事業
国の支援措置名及び支援期間	-
事業目標値・最新値及び進捗状況	8 件の新規創業相談及び支援を実施
事業の今後について	9 件を目標とし新規創業相談及び支援を実施予定

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成する見通しである。

引き続き中小企業を中心とした支援を実施し、まちなかエリアでの創業を推進する。